

平成30年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見							参加者の意見 満足度等	予算 H30予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見											
		モニター(認知度)		モニター(方向性)									
		知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小						
「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」に向けて													
1	区政会議運営							—	202	拡大	より活発な意見交換を可能とし、多くの委員のご意見をいただけるよう、班ごとの審議を基本とする分科会形式の運営を続けるとともに、専門的な意見交換が必要な課題については、部会を開催する為、予算案については増加。	↗	
2	区民モニター							—	1,368	⇒	区民モニター制度は、多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要であることから、継続する。	—	
3	あなたの声をつなげ隊							—	95	⇒	区役所に意見要望を寄せる機会のない区民(サイレント・マジョリティ)と直接対話し、表面化しにくい多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要なことから、継続する。意見聴取時に、区の事業の説明を行い、広報役としての役割も努める。	—	
4	区広報紙の発行							—	14,107	⇒	来年度(7月号を予定)も広報紙の全戸配布を試行実施し、新聞未購読世帯に配送申込みを促す。一方、特集号(増ページ)は、掲載テーマ・内容ともマンネリ化、冗長化しつつあり、読みやすさ、伝わりやすさの観点からも厳格に評価されるべきであることから、発行回数を年4回から年2回に見直し、活用効果を検証、事業広報のあり方を精査する。	—	
5	広報板等その他の広報							—	1,008	⇒	(広報板) 掲出内容の認知、関心の程度に関わらず、区民に直接訴求できる重要な広報手段の一つである為、継続する。 (区HP、SNSを活用した情報発信等) ホームページやSNSなど複数の広報ツールを併用することが有効であるため、継続する。 29年度より運用を開始したLINEを活用し、より効果的な情報発信に努める。	—	
6	職員研修							90%	306	⇒	・職員が地域の特性や住民ニーズに対応した施策を自ら企画し、実施する力を養い、発揮する必要があるため、継続する。 ・来庁者等が快適に利用いただくため、窓口サービスと利便性の向上が必要であり、予算案については、内容を充実させる為、増加。	↗	
「未来を担う人材が育成されているまち ～日本一の文教『都市』の実現～」に向けて													
7	グローバル人材育成事業 (中学生英対話講座・小学生英語体験活動)	12%	85%	22%	49%	71%	7%	86%	2,340	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」は70%に達し、かつ申込みは定員を大きく上回る状況であり、事業を継続する。本事業は今後とも小学校低学年(保護者)の高いニーズに留意し、企画実施していく。	—	
8	イノベーション人材育成事業 (職業講話・インターンシップ・中学生キャリア教育)	12%	85%	15%	57%	72%	6%	78%	273	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が70%以上あり、また平成30年度より中学校と連携した事業として再構築を行っており、事業を継続する。	—	
9	天王寺区ジュニアクラブ	18%	79%	18%	56%	74%	4%	77%	302	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が70%以上、かつ参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果は肯定的意見が70%以上であり、将来の地域の担い手育成は長い視点で実施していく必要があり、現在は地域の方の協力を得て、子どものサポート(見守り)ができていることから、継続して実施する。	—	
10	成人の日記念のつどい							—	205	⇒	成人の日記念のつどいは、青少年指導員や地域の方々との協力を得て、多くの新成人の参加のもと実施してきている。地域とともに地域の子どもたちを新成人として送り出す節目であることから、継続する。	—	
11	青少年指導員活動							—	724	⇒	地域社会と密接した活動を行っている青少年指導員との連携により、青少年の健全育成と非行の防止のために、継続する。	—	
12	こどもの居場所等における学び・生活サポート事業	16%	81%	29%	47%	76%	3%	100%	1,010	拡大	居場所施設の新規設置が困難な中、30年度は居場所を増やす観点から民間設置居場所を対象とし3か所開設した。次年度は、現予算額の枠内において、支援を要する子どもをより直接サポートできるよう事業対象を拡充する。	—	
13	子育てスタート応援事業	20%	77%	22%	52%	74%	4%	92%	9,116	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%を上回っており、利用者アンケートでも、応援券の有効だと感じる対象者も多いことから、次年度も継続して事業に取り組む。事業の継続にあたり、来年度以降に新たな事業者を選定し、長期継続契約(2年分)の印刷物を一括して作成することから、予算案は増加。	↗	
14	子育て情報アプリ「ぎゅっと！」	16%	81%	15%	54%	69%	7%	95%	1,268	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」は約70%となっており、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、アプリの継続した利用促進に向け、掲載内容の充実に取り組む。	—	
15	子育て情報博覧会事業	9%	87%	15%	57%	72%	4%	91%	128	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%を上回り、また参加者の満足度は91%、子育て情報の収集に役に立つと思う割合95%と高く、情報収集の場として活用されている。幼稚園や増加する施設の参加を促しつつ、次年度も継続して事業に取り組む。	—	
16	子育て支援室相談事業 【子育てナビゲーション(子育て情報提供等)】	14%	83%	18%	51%	69%	9%	—	944	⇒	ワンストップ窓口としての子育て支援室については、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、子育て相談や情報提供の充実など養育者を支援するため、継続する。保育コンシェルジュを充実し、地域での出張相談の機会を増やすとともに、子育て支援に関する情報を提供する。予算案については、子育て支援に関する情報提供を強化する為、印刷経費を増加。	↗	
17	子育て愛あいフェスティバル	19%	77%	14%	59%	73%	5%	94%	177	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(保護者)アンケートによるイベント方式での開催の「満足度」調査結果 肯定的意見が94%と高いため、継続する。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)

- ①一について・・・区独自シーリング(△1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)並びに消費税の引き上げによる影響は、必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
- ②下向き矢印・・・予算減について適用(△1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
- ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

平成30年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見							参加者の意見 満足度等	予算 H30予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見											
		モニター(認知度)		モニター(方向性)									
		知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小						
18	乳幼児発達相談体制強化事業	18%	80%	18%	61%	79%	2%	—	2,609	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね80%となっており、専門的な相談員による早期発見及び支援は重要である為、継続。	—	
19	発達障がいサポート事業	18%	79%	20%	58%	78%	2%	—	3,124	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね80%となっており、また学校側からの発達障がいのある児童生徒への支援要請は非常に大きいことから継続。	—	
「『命を守る政策』がしっかりと進められているまち」に向けて													
20	独居高齢者等見守りサポーター事業	36%	63%	23%	57%	80%	4%	—	5,155	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「このまま」が80%であり、利用者(高齢者)の意見聴取でも評価する声がある。見守りネットワーク強化事業に配置されているCSW(コミュニティソーシャルワーカー)と独居高齢者等見守りサポーター事業に配置されているCSWが地域、関係機関と連携し、引き続き、支援の必要な方へ早期対応を行う。	—	
21	高齢者福祉月間事業							—	13	⇒	「老人の日記念百歳高齢者に対する、お祝い状及び記念品贈呈要綱」に基づき、内閣総理大臣からの祝い状等の伝達の依頼があるため、継続する。	—	
22	地域福祉アクションプラン推進支援事業							—	102	⇒	独居高齢者の孤独死、児童虐待、障がい者の社会参加について地域の代表者・福祉施設・障がい者施設・学校関係者が一緒に問題解決に向けて実践するための場としてサポートが必要であるため、継続する。第5期地域福祉アクションプランのもと、各種班会議、研修会等を充実する。	—	
23	下寺町地域の交通手段確保事業	70%	29%	16%	65%	81%	8%	—	2,875	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が80%以上となっており、下寺町地域住民等の福祉的な交通手段として、継続が必要である。	—	
24	歯の健康展							98%	48	⇒	参加者の満足度が高く、歯の健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—	
25	みんなの健康展							98%	57	⇒	参加者の満足度が高く、健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—	
26	がん検診周知事業(広報紙での周知等)	71%	27%	18%	66%	84%	3%	—	278	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が84%である。我が国の死因別割合第一位はがんであるが、がん検診受診の啓発・周知は、早期発見・治療に繋がり、ひいては医療費の削減ならびに健康寿命の延伸に貢献することから、引き続き周知の強化を図る。予算案については、広報紙の特集面の構成を検討を行い、限られた紙面のなかで、分かりやすさ、伝わりやすさを工夫する為、削減。	↘	
地域の力を結集した「防災力」向上の取組													
27	防災出前講座	15%	83%	23%	54%	77%	4%	95%	581	⇒	出前講座受講者アンケートでも95%が「今後に活かせる」と回答しており、受講者から「もっと広めてほしい」、「皆が知る必要がある」といった意見がある。多くの方に受講していただくことが災害対策情報の周知・啓発に資するため、継続。	—	
28	災害対策情報発信(広報紙での発信)							—	339	⇒	災害対策情報の周知を図るため、引き続き広報紙特集号を発行し、広く区民への啓発を図る。ページ数を削減しながら記事の選定、掲載方法を工夫し、周知・啓発を図る。	↘	
29	家具転倒防止器具取付啓発事業							—	109	⇒	自助の備えとして有効といわれる家具転倒対策について、防災出前講座と一体的に取り組む。	—	
30	地域資源との新たなつながりを活かした防災事業	15%	83%	23%	54%	77%	4%	92%	3,587	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が約80%となっている。南海トラフ巨大地震・上町断層帯地震への備えが急務であるため、区内の大多数の世帯が居住しているマンションにおける防災対策を短期間に集中的に進めるために、専門知識を有する人材を非常勤嘱託職員として任用し、取組みをスピード感を持って進める。	—	
31	災害時避難所整備事業	28%	70%	36%	46%	82%	1%	—	1,248	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が80%以上であり、区民の声に応え、大規模災害発生に備えて備蓄物資を充実させることは、安全・安心のまちづくりに資することとなることから、継続。	—	
32	災害時避難所開設・運営訓練							—	92	⇒	自主的な防災訓練の実施を地域防災計画へ反映することで、災害発生時の即応体制の整備に通じるため、自助・共助の取組の一環として、継続する。	—	
33	地域防災リーダー育成	14%	84%	23%	54%	77%	4%	96%	1,161	⇒	平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震の教訓をふまえ、地域での自助・共助活動の中核的な担い手として地域防災リーダー(災害救助青年部)の育成や訓練が必要であることから、事業を継続実施する。	—	
34	職員訓練							—	52	⇒	職員の資質の向上を図ることは、市民の生命・財産を守るためにも有効と考えられるため、継続する。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)
 ①—について・・・区独自シーリング(△1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)並びに消費税の引き上げによる影響は、必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用(△1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

平成30年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見							参加者の意見 満足度等	予算 H30予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見											
		モニター(認知度)		モニター(方向性)									
		知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小						
子どもの安全安心を守り、誰もが安全で安心に暮らせるまちづくり													
35	子どもの防犯に向けたまちづくり事業	38%	58%	43%	40%	83%	1%	—	2,657	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が80%以上であり、防犯カメラの設置について区民から更なる増設を望む声が多いことから、継続。区内では街頭犯罪が多発している。引き続き、警察署と連携した街頭犯罪の抑止に取り組む。	—	
36	交通安全啓発事業	47%	50%	30%	52%	82%	3%	—	203	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が80%以上である。つなげ隊の意見聴取で、「自転車マナーの向上」に向けた取組みに関する要望が多い。区内では、「スピードの出し過ぎ」「信号無視」をはじめとする自転車マナー違反者が多く、引き続き、警察署と連携した自転車マナー向上策を取組む。	—	
37	地域安全パトロール事業	63%	34%	28%	55%	83%	1%	—	564	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が80%以上、参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果 肯定的意見が60%以上のため、継続。引き続き、地域・警察署と連携した街頭犯罪の抑止、子どもの安全・見守り活動を実施する。	—	
38	自転車利用適正化事業	47%	50%	30%	52%	82%	3%	—	3,741	⇒	駅周辺の放置自転車は、通行や災害時の救助活動の妨げとなることから、地域・関係局と協働して啓発活動に取り組む。なお、駐輪場の増設及び放置自転車台数の多い場所や時間帯に撤去を強化しつつ、有償サイクルサポーター事業にかかる予算案は、駐輪場の整備の進捗や駐輪状況を勘案して見直す。	↘	
39	空家等対策推進事業							—	66	⇒	特定空家等の是正に向けた取組みを行い、防犯・防災の観点から課題を検証するとともに、地域の活性化につなげる。	—	
40	路上喫煙対策事業							—	—	新規 ◎	大阪市内の主要ターミナル駅であるJR天王寺駅周辺の路上喫煙禁止地区の指定に向け取り組む。たばこマナー向上につながるよう、路上喫煙禁止地区を標示する看板や路面シート等を作成する。	↑	
「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」に向けて													
41	天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業	29%	69%	13%	60%	73%	7%	96%	546	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が70%以上となっており、「熊野街道・天王寺七坂を散策するのに役立つ」といったご意見も多く、当区の歴史・文化の魅力をまとめた「上町台地周遊マップ」は有効であることから継続。熊野街道などウォークを開催し、周辺区との連携による取り組みや地域団体との連携を拡大して、天王寺区の歴史文化の魅力を発信する取組を推進する。予算案については、天王寺七坂の顕彰板の修繕を計画的に行う為、増加。	↗	
42	吹奏楽フェスティバル	29%	68%	8%	67%	75%	6%	92%	689	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%以上に達しており、来場者アンケートでは、80%以上の方が今後も開催を希望していることから継続。	—	
「つながりあい、支え合い、助け合うまち」に向けて													
43	地域活動協議会への財政的支援	36%	60%	9%	62%	71%	9%	—	16,089	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%を上回り、地域活動協議会の活動を支援することで、身近な地域課題への対応、自律的な地域のまちづくりの推進が期待できることから、継続。	—	
44	新たな地域コミュニティ支援事業 (中間支援組織の運営)							—	13,444	⇒	地域活動協議会の自律的運営に向け、書類作成や会計処理などの様々な事務、認知度の向上や新たな担い手の獲得につながる広報の支援など、現段階では、中間支援組織による丁寧な支援が、必要不可欠である。また、地域活動協議会役員へのアンケートでは、約8割が中間支援組織の支援が役立っていると回答されていることから、継続して取り組む。	—	
45	区民まつり	73%	23%					73%	4,988	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が70%以上のため、継続する。	—	
46	区民文化のつどい	35%	59%					68%	459	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が概ね70%のため、継続する。	—	
47	区民コンサート	38%	56%	9%	67%	76%	6%	89%	553	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が概ね90%のため、継続する。	—	
48	スポーツフェスタ	32%	62%					70%	402	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が70%以上のため、継続する。	—	
49	子ども育成を通じたコミュニティ振興	14%	79%					69%	746	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が概ね70%のため、継続する。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの

予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)

①—について・・・区独自シーリング(Δ1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)並びに消費税の引き上げによる影響は、必要・当然であるため矢印に影響を与えない。

②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。

③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

平成30年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見						参加者の意見 満足度等	予算 H30予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見										
		モニター(認知度)		モニター(方向性)								
		知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小					
50	区民ギャラリー運営						—	19	⇒	団体等に発表の場を提供することで、制作意欲の向上や新規加入者の獲得も見込まれ、区民が参加する文化・芸術活動の促進にもつながるため、継続する。	—	
51	緑化講習会							420	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%に越えており、参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果 肯定的意見が80%以上のため、継続 ・また、緑化ボランティア育成講習受講者が花のボランティアグループに加入されるなど、新たな担い手の確保にもつながっている。	—	
52	種から育てる地域の花づくり事業	39%	57%	15%	62%	77%	5%	82%	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は70%に達しており、自分たちの手で種から花を育て、その花を地域の皆さんの目に触れる場所に植えることを通じて、事業目的である花と緑あふれる美しいまちづくりに貢献していることから、継続。	—	
53	校庭等の芝生化事業						—	297	⇒	地域での維持管理を行う必要があるため、継続する。	—	
54	天王寺区地域公園 協働パートナー事業						—	2,150	⇒	地域コミュニティの推進と、公園の安定的な維持管理を両立するため、継続する。30年度より国分公園も対象となり、区内5公園で実施している。	—	
55	生涯学習推進事業	43%	53%	13%	63%	76%	5%	96%	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上であること、また、生涯にわたっての学習に加え、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。	—	
56	P T A・社会教育関係団体対象学習会助成						—	31	⇒	区役所と協働して人権や家庭教育に関する学習会を実施することは、区民の主体的な学習活動を支援し、また地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。	—	
57	学校体育施設開放事業	37%	58%	12%	65%	77%	3%	—	1,629	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が70%以上であり、学校教育に支障のない範囲で学校施設を十分に活用されており、本事業を通じてスポーツを行う機会を提供できているため、継続する。	—
58	人権啓発推進事業						—	50	⇒	平成21年2月に「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」が策定され、本市として、さまざまな取組みを継続的かつ体系的に推進する必要があるため、継続する。	—	
施設の管理運営、事務経費等												
59	区庁舎設備維持点検費						73%	23,220	⇒	来庁者及び職員が、区役所庁舎を安心・安全・快適に利用できるようにするのは、行政の基本的責務である。区庁舎の施設・設備も年々改善を図ってきているが、さらに満足度を高められるよう、取組みを行う	—	
60	区庁舎光熱水費						—	20,261	⇒	区庁舎の快適性を維持する必要がある、継続。30年度は全館空調改修工事を実施し、31年度は環境局の基金を活用した照明のLED化を図り、経費の節減に努める。	↘	
61	区民センター管理運営						97%	28,771	⇒	区民活動の拠点として活発に利用(平成29年度利用率70%)され、利用者の満足度も90%以上となっており、コミュニティ活動の振興などにもつながっている施設であることから、引き続き指定管理者による運営を行う。	—	
62	庁舎管理及び運営経費						73%	82,861	⇒	区役所業務を適切に維持・運営していくために物品調達等を行う必要があるが、できるだけ安価に調達するなど、節減に努める。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの

予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)

①一について・・・区独自シーリング(Δ1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)並びに消費税の引き上げによる影響は、必要・当然であるため矢印に影響を与えない。

②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。

③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。